



**会長企画
シンポジウム**



座長：内野 直樹 (JCHO理事)

PSP1 **第2期 JCHO 版
クラウド電子カルテ稼働の経験
～パイロット病院として～**

JCHO 宮崎江南病院
白尾 一定、松尾 剛志、松元 大典

2018年2月に第2期JCHOクラウドプロジェクトのパイロット病院の指定を受けた。2018年5月25日にJCHO本部にて総合評価入札の一環として技術評価会が開催され、導入ベンダーをソフトウェアサービス (SSI) に決定し、SSIの基本パッケージを用いたJCHO版パッケージを作成することになった。当院の電子カルテの基本方針として、急性期病棟、地域包括ケア病棟、回復期リハ病棟、介護老人保健施設、訪問看護、健診センターの情報が共有でき、地域包括システムに活用出来る電子カルテを目標とした。また、経営に直結するベッドコントロール体制や医療看護必要度の情報は、目標値を含めて表示出来るようにした。7月4日にSSIとの打ち合わせ会「チームクラウド」を発足させ、その後各ワーキンググループでの活動を開始した。3月6日から3日間電子カルテ見学会を行った。2019年2月より部門リハールサル、3月13・20日に全体リハールサルを実施し、4月1日に本稼働した(介護老人保健施設は、4ヶ月遅れの稼働である)。全体リハールサルには後発病院も参加した。稼働後4週間が経過し、クラウド環境に伴う起動時間の遅延や操作時のフリーズ、シングルサインオンに伴う立ち上げ、透析部門システムとの連携不備、病院と附属施設間のID統合などいくつかの問題が浮かび上がった。ネットワーク整備、早期の部門システムの選択、クリニカルパスの作成、部門システムとの連携確認、運用指針の策定等の問題点が認められたので報告する。今後に稼働する病院の一助になれば幸いである。

PSP2 **JCHO 統一モデル導入の
経緯及びメリット等について**

JCHO 本部 総務部 IT推進課 課長
西川 英敏

電子カルテ、医事会計システム、検査システム等の医療情報システムは、現代の病院を運営していく上でなくてはならない存在となっている、しかしその一方では、それらのシステム導入に係る費用は数億円にもなり病院経営には大きな負担となっている。また、情報セキュリティ対策についても、厚生労働省所管のJCHOとしては、国の基準に従ったセキュリティ対策を行わなければならない、個別病院においてはその費用・労力ともに大きな負担となっている。

第1期JCHOクラウド・プロジェクトでは、データ管理専用構築されたデータセンターに国の基準に従ったセキュリティ対策を施した共有の仮想基盤を構築し、複数のJCHOグループ病院の電子カルテ、医事会計システムを稼働させることを基本とし、大規模災害発生時における診療データの確保を担保した。また、データセンターに構築したIT資源及び各種機器は24時間365日監視され、サーバのCPU・メモリの稼働率、ディスク容量、ネットワーク通信量等のシステムの可視化、IT資源キャパシティの管理、不具合・故障等の事前予知等を行うとともに、従来は病院個別に行っていたシステム運用管理等を集中・一元化することにより、業務効率の向上を図った。

第2期JCHOクラウド・プロジェクトは、第1期で構築したデータセンター基盤を拡張したIT資源上に、JCHOの中小規模の病院群で利用できるJCHO統一モデルを開発し、200床規模以下の病院群に展開を行うこととした。このJCHO統一モデルは、電子カルテ・オーダーリング、医事会計システムだけでなく、栄養・給食、輸血管理、手術等の部門システム機能も含んだパッケージシステムとして開発した。また、マスターについても多くのマスターを統一マスターとして整備し病院間をまたいだデータ分析を可能とすると共に、統一マスター情報の更新は、データセンターで一括管理を行うこととした。

学会発表時には、JCHO統一モデルの導入の経緯やメリットについて説明を行う。

座長：内野 直樹 (JCHO理事)

PSP3 クラウド型
電子カルテシステムの導入における
疑問解消のためのシンポジウム

株式会社ソフトウェア・サービス
新規導入部 サブマネージャー
金子 永基

『第2期JCHOクラウド型病院情報基幹システム調達』プロジェクトを通じて、JCHO統一パッケージの共同開発者である株式会社ソフトウェア・サービスを代表し、電子カルテシステムの導入における疑問や、導入時に発生する問題について、討論をいたします。

システム導入を行うベンダーとして、いかにして円滑かつ問題少なく、そして病院様の負荷を下げ、システム運用を開始できるかを前提に、疑問・課題の解決を目指します。解決のために、実際に導入を行った病院様からの“要望”“不満”に対して、シンポジウムにて当社としての回答を行います。